

# 内閣府沖縄総合事務局

## 採用区分

全区分（一般職試験（大卒程度試験））

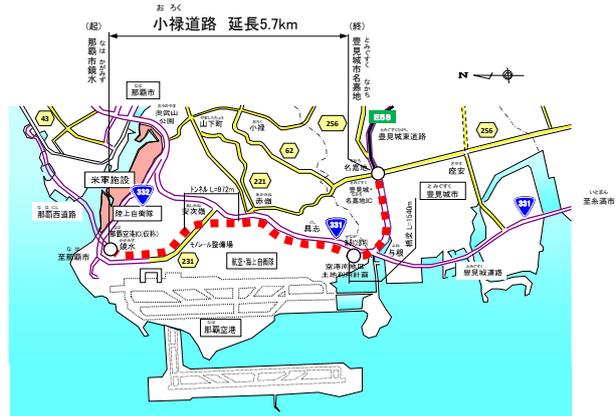
## 土木区分の主な業務

### 01 道路整備

#### 那覇空港自動車道（小禄道路の整備）



完成イメージ図(豊見城・名嘉地IC付近)



### 01

那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路等の幹線道路をはじめとする道路ネットワークの整備等を推進。地域や拠点間の連携及び空港・港湾アクセスの強化を推進し、生産性向上による成長力を強化、那覇都市圏をはじめとする交通渋滞緩和を目的として整備を推進している。

小禄道路の整備により、空港から沖縄自動車道までの高速ネットワークが形成され、空港への定時性・速達性の向上が期待される。

### 02

#### 港湾整備

##### 那覇港新港ふ頭地区



##### 石垣港新港地区旅客船ターミナル



### 02

島しょ県である沖縄において、港湾は経済活動、県民生活、更には災害対応に欠かせない重要なインフラである。このため、物流機能強化を目指し、那覇港新港ふ頭地区において、RORO船の大型化及び取扱貨物量の増加に対応するため、新たな岸壁の整備とふ頭用地の拡張を行う。また、那覇港の臨港道路や平良港の耐震強化岸壁の整備、竹富南航路の保全・管理等にも取り組む。また、近年の大型外航クルーズ船に対応するため、那覇港、平良港及び石垣港等においてクルーズ船ターミナルの整備を推進し、沖縄県経済の発展に大きく貢献している。



将来の航空需要に適切に対応するとともに、観光立県沖縄の持続的発展に資するよう、那覇空港第二滑走路を整備した（令和2年3月供用開始）。

現在は、ターミナルビル前面の高架道路の延伸及びエプロンの新設整備等により、空港の利便性や機能向上に取り組んでいる。

## 先輩職員に聞く仕事の魅力！

開発建設部道路建設課

今村 光志

2023年 沖縄総合事務局採用（土木区分）

南部国道事務所調査第二課

2025年 開発建設部道路建設課 現職

道を創る、沖縄を創る



令和5年度土木区分採用の今村です。道路建設課では、道路事業に関わる調査、評価、計画・予算、自治体の補助等の業務を4つの係で分担して仕事をしています。

私が配属された調査係では、沖縄県内における渋滞対策や交通量調査、道路整備計画等、様々な業務を担当しています。特に渋滞に関しては、沖縄県内に存在する主要渋滞箇所（交差点）の渋滞緩和・解消を図るために、関係者が協力し、渋滞等にかかる総合的な改善の推進を図る「沖縄地方渋滞対策推進協議会」の事務局として、沖縄の渋滞対策に携わっています。

また、道路建設課では県外への出張も多く、1年の中で東京への予算要求ヒアリングや自動運転・交通結節点事業等に関する現地視察に行くこともあり、これらの様々な経験を通して、道路事業に関する多様な知識を得ながら、日々楽しく業務に励んでいます。

開発建設部は、『沖縄の振興には欠かせない、何十年後も形として残るインフラ整備』という大変やりがいのある仕事です。ぜひ、皆様も一緒に働いてみませんか！



交通結節点現地視察の様子（広島駅）

## 建築区分の主な業務

04

官庁営繕

那覇第2 地方合同庁舎



国立劇場おきなわ



04

「営繕」とは、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替え等の工事を指し、国の機関が使用する事務庁舎、研究施設、教育文化施設等の官庁施設の整備や、官庁施設が常に適正な機能を維持できるように技術的な指導を行っている。

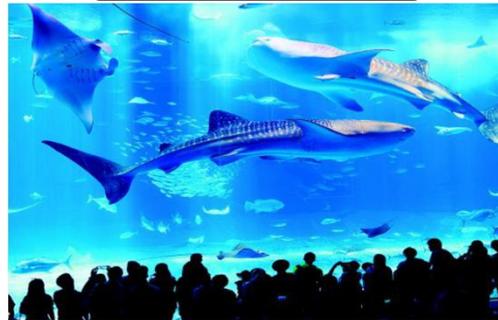
05

公園整備

首里城正殿復元整備



沖縄美ら海水族館



05

焼失した首里城については、現在、早期復元へ向けて取り組んでおり、令和4年に正殿復元工事に着手、令和5年には正殿の柱や梁の組み立てが始まり、令和8年の正殿復元に向けて工事を進めている。また、沖縄美ら海水族館の整備等、沖縄の持続的な観光振興の中核となる施設整備を行っている。

06

国家公務員合同宿舎の建築及び維持管理

浦添住宅



石垣第四住宅



06

政策を最前線で支える国家公務員が、全国どこに配置が換わったとしても、安心して迅速に職務を遂行できるように「国家公務員合同宿舎」を整備している。

## 先輩職員に聞く仕事の魅力！

開発建設部営繕課

宮良 琉玖

2023年 沖縄総合事務局採用（建築区分）

2023年 開発建設部営繕課 現職

知識を設計に反映していく



首里城復元工事の様子

令和5年度建築区分採用の宮良です。私が所属する営繕課では、沖縄管内にある様々な国家機関の建物の整備を行っており、現在は首里城正殿の復元整備や各施設の改修等を行っています。

私は、主に新築・改修の設計を担当しています。設計に当たっては、その建物に求められている性能を理解し、法律に加えて営繕独自の基準類にも適合させる必要があります。基準類は多岐に亘り、覚えるだけでも大変ですが、分からない部分があっても上司や先輩が優しく詳しく教えてくれます。アドバイスを貰うことで自分だけでは知り得なかった新しい視点で物事を捉えることができ、日々成長を実感しています。

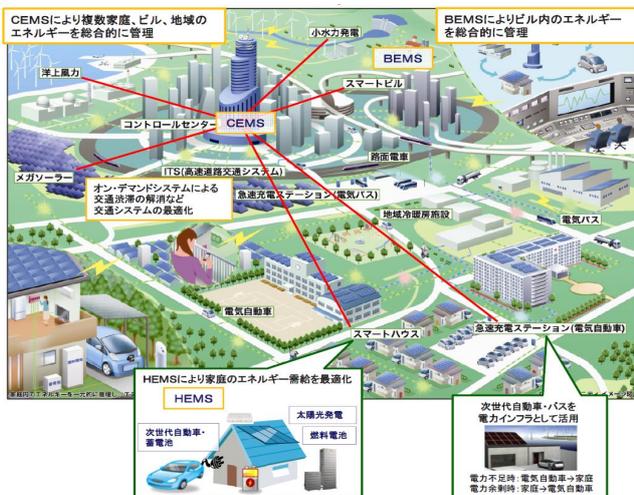
国土交通省の全国の地方整備局では、基本的に同じ基準を使っていますが、沖縄の事情や離島ならではの気候を踏まえて設計を行う必要があります。例えば、不発弾への対策や、台風による被害を防ぐための基準の割り増し、強い日射による熱負荷を低減するための工夫などが求められ、沖縄で業務を行うことでしか得られない知見があるのでとても有意義な経験になると思います。

営繕課は主に意匠と構造、電気、機械と4つの部門に分かれており、建築職だけでなく、電気職や機械職の活躍の場もありますので、国の建物の設計に興味のある方は、是非、営繕の世界へお越しください。皆さんと一緒に働くことを心よりお待ちしております。

## デジタル・電気・電子区分の主な業務

07

スマートコミュニティのイメージ



(出典：資源エネルギー庁)

07

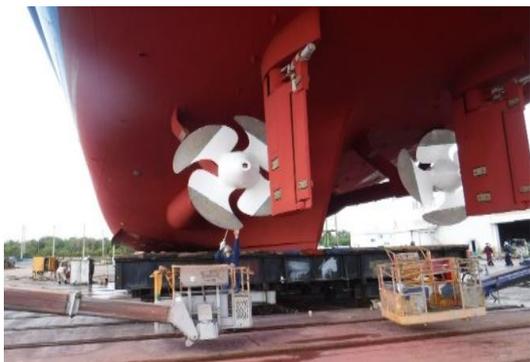
電気は、生活や産業活動を支える大切なエネルギーであるため、発電所の維持や電気事故防止対策に取り組み、平時の安定供給のみならず、災害時の早期復旧に努めている。

また、資源の限られた我が国において、電源の多様化や地球温暖化対策に向けて、太陽光や風力などの「再生可能エネルギー」の導入拡大を図っている。

さらに、地域分散型エネルギーの開発やICT技術導入の促進等を通して、スマートコミュニティの実現に向けて取り組んでいる。

## 機械区分の主な業務

08



08 船舶の安全運航のため、船舶及び船舶の諸設備の検査を実施している。船舶検査には、定期検査のほか、中間検査、臨時検査、臨時航行検査などがある。

09



09 道路運送車両の保安基準に基づく検査を実施。自動車の検査には、新規検査、継続検査、構造等検査及び街頭検査などがある。

## 先輩職員に聞く仕事の魅力！

運輸部  
陸運事務所（整備部門）

平良 勇登

2022年 沖縄総合事務局採用（選考）  
陸運事務所 輸送部門 運輸企画専門官  
2023年 陸運事務所 整備部門 陸運技術専門官  
現職



私は機械区分で採用され、運輸部の出先機関である陸運事務所の輸送部門で、事業者からの届出・許認可等の申請対応を1年経験した後、整備部門に異動になりました。現職では自動車の検査に関する申請の処理、離島等への出張検査、各種講習開催、不正改造等の排除を目的とした街頭検査等、幅広い業務に携わっています。車社会の沖縄で、業務の一つ一つが交通の安全・安心に直結しているということに、「やりがい」を感じています。

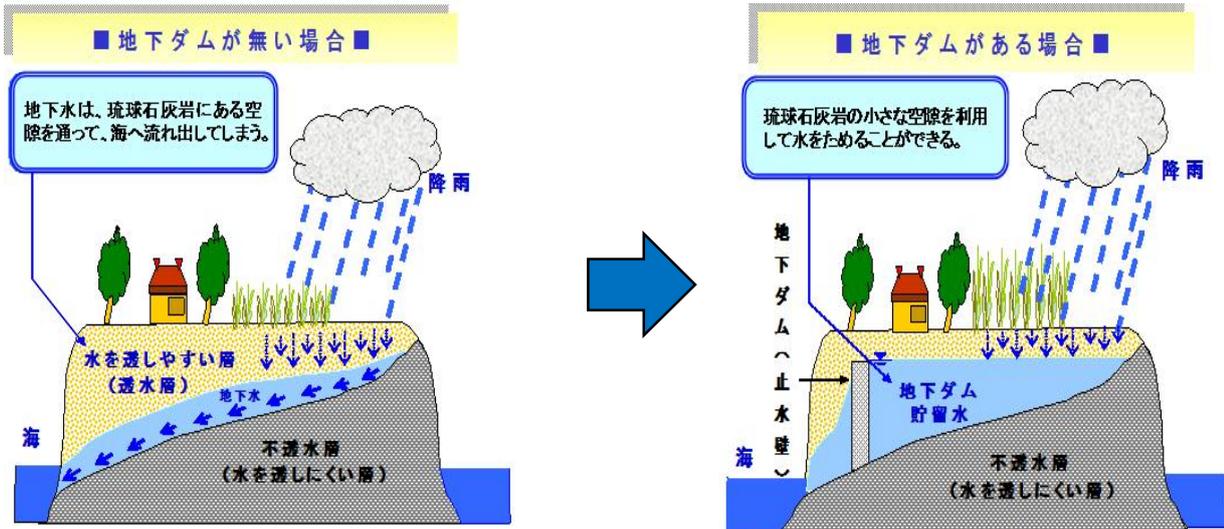


様々な業務に携わることで成長し続けることのできる環境である一方、不安や心配も出てきますが、頼れる先輩方のご指導のもと、安心して新たな業務に挑戦できる職場環境に、強く魅力を感じています。

## 農業農村工学区分の主な業務

10

### 地下ダムの仕組み



- 10 農業の生産性向上や農村地域の防災・減災、国土強靱化を実現するため、農地の大区画化、農業水利施設の長寿命化等を推進するとともに、農村を支える人材を確保し、活力ある農村を次世代に継承していくため、日本型直接支払により地域を下支えしつつ、農泊・六次産業化・農福連携等の施策を実施しています。例えば、台風や干ばつなど厳しい気象条件の中で、生産性の高い農業を実現するために必要な水源の確保のため、地下ダム等のかんがい排水施設の整備を進めています。

## 先輩職員に聞く仕事の魅力！

土地改良総合事務所

執務の様子



現況調査の様子

吉山 盛智

2020年 沖縄総合事務局採用（土木区分）

土地改良総合事務所

2021年 宮古伊良部農業水利事業所

2024年 土地改良総合事務所 現職

私は、令和2年に試験区分（土木）で採用され、土地改良総合事務所や宮古伊良部農業水利事業所での勤務を経験してきました。現在所属している土地改良総合事務所では、国営で造成した施設の機能診断や施設の更新計画の策定など、施設の機能保全に関わる業務を担当しています。

大学在学中は理学部で物理を専攻しており、農学部出身ではなかったことから、農業や農業土木分野についての知識がなく、入局するまでは職務をうまく遂行できるか不安がありました。しかし、職場には年齢の近い先輩も多く、わからない点があれば相談しやすい環境が整っており、その中で適切な助言を受けながら仕事に取り組むことができます。また、研修関係が非常に充実しており、年に1～2回様々な研修に参加することで自己研鑽に励み、技術的知識や経験を積むことができます。研修には全国から同年代の職員が参加するため、各地方の職員と交流を深められることも魅力の一つです。

## 農学・林学区分の主な業務

11

食料の安定  
供給



11

沖縄の農林水産業の振興のため、①食料・農業・農村に関する施策の普及・地域の実態の把握、②農業・林業・水産業・食品産業の振興、③農業経営の改善、④農村・漁村・中山間地域の活性化、⑤食品表示の監視・指導と消費者行政、⑥農林水産統計の作成、など地域の実情に合った各般の施策を実施しています。

具体的には、意欲のある経営体の育成に必要な生産・加工施設の整備、治山施設、漁港等のインフラ整備及び農山漁村の生活基盤の整備をはじめ、各種事業に対する助成、指導や食の安全・安心を確保するための業務を行っています。

### 先輩職員に聞く仕事の魅力！

石垣農林水産センター

R.N.

2023年 農林水産部採用（農学区分）  
食料産業課

2024年 石垣農林水産センター 現職



水稻の刈取調査の様子  
(右：R.N.)

私はR5年に農学区分で採用され、現在は石垣農林水産センターで勤務しており、八重山地域における農産物の作付面積・収穫量等を調査する業務を行っています。主に関係機関や農家さんへの聞き取り調査や刈取り調査等で畑に出ることが多いので、現場の声を直接聴く機会もあり、沖縄地域の農業の特徴や問題点を知ることができて日々学びながら業務に取り組んでいます。農林水産部では、農業・林業・水産業と専門的で幅広い業務を担っており、採用区分に関わらない業務に就くこともあります。また、基本的な事務等について分からないことも多々ありますが、先輩や上司の皆さんが懇切丁寧に若手職員をサポートしていただけるおかげであまり構えずに働くことができています。

林務水産課

2019年 農林水産部採用  
(林学区分) 統計調査課

高良 美沙希

2020年  
石垣農林水産センター

2022年  
農林水産省（出向）

2024年  
林務水産課 現職



執務の様子

私は林学区分で採用され、現在は林務水産課で林政業務を行っています。主に治山事業を担当しておりますが、林野庁や沖縄県庁と連携しながら、円滑な事業の執行に向けて調整を行っています。大学では森林政策学を専攻しており、治山工事や土木に関する専門知識を持っているわけではありませんが、分からないことがあれば上司に教えていただき、日々勉強しながら業務に励んでいます。農林水産部内はとても雰囲気が良く、所掌業務に関わらず若手職員をサポートして下さるので、毎日楽しく仕事をする事ができています。林学区分で採用されていますが、林業だけでなく、農業や漁業に関する業務を行うこともでき、幅広く沖縄の農林水産業に携われるところが当部で働く魅力だと感じています。

#### ■お問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局総務部人事課任用係

〒900-0006 那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2 地方合同庁舎2号館

TEL：098-866-0045

<https://www.ogb.go.jp/>

